

# BeKindly vol.4



# 東日本大震災への取り組み



## 学校法人 山口精華学園 岡村精二・理事長の取り組み

2011年3月11日に起こった東日本大震災。震災後すぐにご自身で設計された復興支援ハウスを被災地に届け、炊出しや泥の掻きだしといったボランティア活動に参加された岡村精二・理事長にお話を伺いました。

- 岡村先生はいつ被災地を訪れたのですか？

- 3月11日に震災があり、すぐに私の友人たちが100名程度のボランティアで石巻に集まると連絡があったんです。拠点が何もないため私の復興支援ハウスを貸して欲しい、と。そこでハウスを2台、石巻の専修大学内にあった社会福祉協議会のボランティア・センターに送りました。それは、ボランティア・スタッフの看護施設として活用されています。今、彼らは大崎の方へ移り、そこを拠点に活動しています。もちろん、被災された方々が一番大変な状況に置かれているのですが、ボランティアもまた同じく大変な環境にいます。彼らが最大限力を発揮できる環境を整えてあげなければ、現地での自分自身の生活に追われて支援どころじゃなくなるわけです。そこで、こういった復興支援ハウスを活用して頂きそういった環境を整えるということも大切だと思うのです。もちろん、国や自治体の取り組みのなかでこういった復興支援ハウスを備蓄することが出来れば被災された方々の仮設住居の問題も軽減できると考えております。

- そうですね。通常の仮設住宅だと建設までに時間もかかりますし、予算もかかってしま

いますからね。

- そうです。仮設住宅だと予算も時間もかかってしまいますが、このハウスだと設営も数時間で済みますし、使い捨てにはなりません。この復興支援ハウスを作るきっかけとなったのは阪神淡路大震災です。あの時、すぐに仮設住宅が5万戸必要とされたのですが、それが完成するまでに8ヶ月かかったのです。真冬から夏まで避難所生活を強いられたわけで、そういった被災者の方々を一日でも早く避難所生活から解放させてあげたい、というのがきっかけだったのです。

- 石巻を訪れてみて如何でしたか？

- やはり、見るや聞くのでは大違いです。行ってみなければわからないことはたくさんあります。あれだけの大きな震災が起こり、数多くの方々が被災され、住むところもまもなくなくなった時にまずは住居からはじめなければいけません。落ち着いて生活できる所が確保されて、これからどうしようか、となるわけですから。

- ボランティア活動は如何でした？

- ボランティアをされている方々の姿勢が何か困っていることがあれば、私たちにお手伝いをさせてください」というものなんです

ね。それがお互いに笑顔を生むわけです。それはやはり素晴らしいものです。ですが、早い時期に「ボランティアは十分過ぎるほどいる」、「受け入れられないから来ないで欲しい」といった報道がされてしまいましたが、決してそんなことはありません。まだまだ多くの人手を必要としています。一軒一件にボランティアの可能性があるとすれば、リュックサックを背負って誰が行っても良いわけですよ。「何かあればやらせてください」というスタンスで取り組んで頂ければ一番良いんです。

- 今回の震災の前と後では多くの方々の意識に変化があったと思います。特に子供や若い人への影響は大きいのではないのでしょうか。震災後、そういった子供たちや若い人たちへの伝えたいことは何でしょうか？

- 今回の震災で家族や住居を失うなど大変なことが数多く起こっているわけです。まずは、被災した子どもたちが立ち上げられるような支援システムを作ることが先決だと思います。社会がしっかりと子供たちや若い方々を支えるようにした上で、自立心を持って新たな目標に向かって行動できるシステムが欲しいですね。「なぜ僕だけが？」そう思うこともあると思います。ですが、それを乗り越えて強く育ってほしいですね。



安倍晋三・元内閣総理大臣、金子豊・副理事長

## 2011年7月15日(金)復興支援ハウスの展示会を 東京都庁「ふれあいモール」にて行いました



岡村精二・理事長、岸信夫・参議院議員  
三浦房紀・山口大学教授、金子豊・副理事長

岡村精二・理事長、林芳正・元防衛大臣、三浦房紀・山口大学教授

安倍晋三・元内閣総理大臣、小林興起・衆議院議員  
岡村精二・理事長、石原慎太郎・東京都知事



7月15日(金)東京都庁「ふれあいモール」にて岡村精二・理事長の復興支援ハウスの展示会が開催されました。

岡村精二・理事長のコメント

「7月15日(金)東京都庁の「ふれあいモール」(第一本庁舎と第二本庁舎の間にある公園)で、復興支援ハウスの展示会を開催しました。

山口県から出てきて、東京のど真ん中で、しかも東京都庁からは、最高の場所を提供して頂きました。

また、早朝より都市整備局の職員の皆様が、展示の準備、また国会議員の皆さまの出迎え誘導をお手伝い下さり、本当に有難いことだ

と心から感謝しています。

展示会には、たいへんお忙しいなか、猛暑にもかかわらず、石原慎太郎東京都知事、猪瀬直樹東京副知事、安倍晋三元内閣総理大臣、河村建夫元官房長官、林芳正元防衛大臣、小林興起衆議院議員、生方幸夫衆議院議員、岸信夫参議院議員、さらに東京都からは、都議会議員、区議会議員、都市整備局職員ならびに、区市町村の応急仮設住宅建設担当職員など250名の方々が見学してくださいました。」

岡村精二オフィシャル・ブログ

<http://okamura21.com/>

## 東北大学と震災

先日、英語学習の研修のために訪れた東北大学にて、震災及び震災への取り組みについてお話を伺ってまいりました。

震災から3月一杯までは学生・教員ともに自宅待機となりました。1週間程は情報も全く入らず、連絡を取り合うことも出来ず完全に孤立した状況でした。ですが、4月に入ってから復興モードになりました。東北大学としてこの震災を受けた日本でどういったことが出来るのか、やるべきなのかという議論が始まりました。入学式・卒業式も中止となり、被災した学生もいましたがキャンパスは賑わっていましたね。早い時期から自主的に学生たちがボランティアを始め、大学はそれをサポートするような形になっています。大学自体も770億円以上の被害を受け、生徒の住居も足りないなかでそれぞれに支え合いながら



活動を行っています。教員よりも学生のほうが復興に対する反応が早かったですね。すでに、工学部の3年生を中心にこれから自分たちがどのように日本に貢献していけるのか、今回の震災に対してどのようなことが出来るのか海外のカンファレンスにて発表しようと

いう動きも出てきています。それはとても重要なことです。「素直で真面目」な東北大学の気風がこういった動きを支えているのだと思います。

橘由加・准教授

## 福島市へ支援物資

精華学園高校との関係も深い佐野敏夫氏(株式会社クレストジャパン)が震災後すぐに福島市の小松氏(ラーニングブレイン)からの要請を受け、避難所の子供たちの学習をサポートしたい、と文具や支援金などを届けました。

小松氏の「避難所では、子供たちが何も出来ない。勉強をしたくても紙も鉛筆も無いが何とかならないか?」というお話から佐野氏が株クレストジャパンのHPやFacebookなどで呼びかけを行ったところ、10,000本以上の筆記用具、ノート5,000冊以上、義援金43万以上など、わずか5、6日の間に多くの方々(約150人/企業以上)からの支援物資が届いたとのことでした。

佐野氏からのご報告を抜粋します。

「メール、ブログ、facebookなどから、面識のない方々からも数多くのご連絡をいただいたり、本業を差し置いてまで多くの物資を集めて頂いた方など本当に頭が下がる思いで一杯です。

とても重要なのは「組織」でもない、「会社(企業)」でもない、ただ「何とかしたい!!」でも、どうしたら良いのか分からない!!」という想いを持った多くの方々がメールなどで協力をして頂いたという事実です。

大きな組織や企業が、大金や多くの物資を支援するのは被災地の方の数を考えればまず必要なことであるに違いありません。

しかし、一人の人が近所の人に呼びかけ、自分の子供に説明し、鉛筆1本、消しゴム1個を集めて頂いた事がとてもとても大切な事だと思います。



上)中央左(株)クレストジャパン佐野氏、中央右ラーニングブレイン・小松氏

下)左からエルベ学院上原取締役、つくば開成青木教頭、エルベ学院寺田課長、アクシスプラス池上代表、M'sworks近藤代表



## Seeds Of Species

東日本大震災後、4月と5月にこのフリーマガジン「SK」を制作しているNPO法人Seeds Of Speciesのスタッフが郡山、石巻、気仙沼を訪れました。

4月は石巻にてボランティア受け入れのための体制準備のお手伝いを始め、炊出し・泥の掻き出しなど震災発生から1ヶ月を経てまだまだ手付かずのことが多い中、出来るだけのことをお手伝いさせていただきました。

5月は、日本ボウリング教会の方々と共に

郡山市内の避難所に食料物資を届け、簡易ボウリングキットで子供から大人までちょっとしたストレス発散としてゲームを楽しんでもらいました。

その後、気仙沼に移り、現地の小学校にて食料物資の配布とお昼の炊出し、授業の一環としてのボウリング・ゲームを楽しんで頂きました。

震災の規模を考えれば、今回の訪問で出来たお手伝いなどは微々たるものでしか有り

ません。ですが、今後数年はかかるであろう復興のためには一人でも多くの人の力が必要です。一人ひとりが、それぞれに出来ることを行うこと。そしてそれを続けることがとても大切だと実感しました。

是非、みなさんもそれぞれに出来ることから始めてください。

私たちもまた、出来る限りのことを続けていきます。

# 精華学園高等学校の英語学習への取り組み



7月、精華学園高等学校金子副理事長が東北大学で行われている新しい英語学習の研修のため東北大学・浅川照夫教授と橘由加准教授のもとを訪れました。

東北大学では英語学習にLinc Englishという英語力育成プログラムを導入し、生きた英語を学生それぞれのレベルに合わせて学習出来る授業を行っており、そのLinc Englishを使った授業の様態と開発者でもある橘准教授の英語学習の大切さについてのお話をお伝えします。

この日は東北大学工学部の1・2年生を対象とした英語の授業で週に1回ペースで行われているとのことでした。Linc Englishは基本的にウェブを介した学習システムとなっており、一人ひとりが自分のペースで学習できる自学自習が基本的な学習方法となっています。そこに、定期的な授業が入ることで起伏を付けた継続的な学習が出来るようになっているようです。

授業では学生それぞれがPCを使い、Youtubeを始めとしたネット上の動画なども教材として使いながらLinc Englishを中心に授業を進めていきました。

ウェブ上にある様々な動画などを教材の一部とすることで、工学関連の動画など、それぞれの学生、学部に合わせてコンテンツを使っているのが新鮮でした。

時折、ネイティブの女の子がスピーキングや会話などを行うことで起伏に富んだ授業で、多くの学生が真剣に取り組んでいました。

授業終了後、Linc Englishの教材開発顧問であり東北大学・高等教育開発推進センター

准教授を務める橘由加博士にお話を伺いました。

- 本当に単純なことなんですけど、日本の英語学習は読む、書くを中心にやっていて、受験英語になっているんですね。試験も難しい問題が出ますし、学生もそういった難しい問題を読み解くことが出来るわけです。ですが、それにも関わらず、非常に簡単な会話が出来ないんですね。これはどういうことかという、耳のトレーニングをやらずに、紙の上でだけトレーニングをしているんです。小・中・高で聞く練習、聞いて話す練習というのがなされていないんですね。15～6年モンタナ大学で様々な学生を見てきましたが、日本の学生は英語が出来ないわけです。スピーキングもリスニング、リーディングも。それはなぜかという中学英語、高校英語、受験英語、それだけだからなんですね。韓国と日本の高校生を比べると1年半分程度のポキャブラリー力の差があるんです。

- 英語に限らず、外国語を学ぶ上で必要なことなんですが、4技能（リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング）を同時に進めなければ非常に時間がかかってしまうんです。ですから、せめて中学くらいから初級、中級レベルの英語でリスニング、リーディングの量をこなしていれば、大学に入る頃にはネイティブの英語でも聞けるようになっています。難しいものをこなすのではなく、簡単なもので良いので聞く、読むの量とスピード、持続が大切なんです。Linc Englishではそういったことも考えて中学から高校、大学までのカリキュラムと問題量が用意されています。

- 学習を継続させていくためには、目標を持つこと、興味を持つことが大切です。音楽でも何でも良いので興味のあるものが出てきて、そこから英語に興味を持てるようになるれば良いんです。いつも学生に言っているんですが、英語が出来るようになると得られる情報量が格段に増えます。受験のため、試験のための英語だけでは飽きてしまいますが



橘由加准教授、浅川照夫教授、金子豊副理事長

らね。

- 難しい問題のときには最初に日本語を見てしまっても良いですし、疲れたらそこで中断して何度でも同じ問題をやって良いんです。Linc Englishは自学自習を中心としたプログラムですから、自分のペースで、どのレベルから始めても、どのような使い方をしても良いわけです。その他には、ゲーム性やアクティビティの部分も大切です。SkypeやGmailでも構わないのですが、簡単な文章でチャットしたり、ネイティブの会話を書き出してみたりなど、問題に疲れたらそういったことをやって気分転換をして良いですよ。



金子豊副理事長、山屋卓郎さん

研修を終えて ~ 金子 豊 副理事長  
東北大学の浅川照夫教授や橘由加准教授には大変お世話になりました。

東北大学でのLinc English を導入した英語学習の授業を拝見し、英語学習の大切さや「スリアップ」の方法として有意義であることを実感しました。

精華学園高等学校も来年度からLinc English を導入し、これからの若者たちが世界に通用する英語力を身につけるよう英語学習に力を傾注して行きたいと思っています。

実際に3年以上東北大学にてLinc Englishを使って学んでいる学生さんにお話を聞きました。

#### 東北大学4年 教育学部 山屋卓郎さん

「やはり大学生になってからの英語学習と高校までの英語学習にギャップを感じていましたね。TOEFLやTOICなどの資格を得ようと考えると受験英語ではどうしても足りないんです。そのギャップを埋めてくれるものとして、東北大学で導入しているLinc Englishがとても役に立ちました。Linc Englishをやるなかで自分に足りないものが何か、というのわかったので自習の点でも力になりました。中学や高校くらいの早い段階からLinc Englishで学べていれば良かったと思いますね。問題が英語圏で実際に使われているものですし、基本的に自学自習のためのものなので自宅でも学べるのが良いですね。今後はTESOL(教育学英語教授法)を取るためにアメリカの大学に留学したいですね。」

東北大学 HP <http://www.tohoku.ac.jp/>

Linc English HP <http://www.lincenglish.jp/>

# ROCK A' TRENCH

## 山森大輔

9月7日にニューアルバムをリリースするROCK A' TRENCHのギター／ボーカル・山森さんは、小学から中学にかけてアメリカ・ニューヨークで5年間を過ごし、高校から独りで日本に戻り自分の夢を追いかけて、夢を叶えた人でもあります。

山森さんに、学生時代、音楽に対する想いを語っていただきました。

- いきなりですが、どういった学生時代を過ごされましたか？

- 小学校5年の時に親の仕事の都合でニューヨークに引越しをして、向こうで中学を卒業して高校からまた日本に帰ってきたんですね。それは自分にすごい影響のある出来事ですね。日本人学校と地元の学校と半々くらいで行っていたんですが、小5くらいで向こうに行くとなんか日本語のベースが出来ているせいもあって英語にすごい苦労しましたね。それに思春期でもありましたから、いろいろ悩んで独りで世界中の苦悩を背負っているみたいな時期もあったりね(笑)でも、日本にいたら経験出来ないようなことをたくさん経験できましたね。音楽に目覚めたのもその頃でしたし、でも、それから日本に帰ってきて高一の時にまた壁が一つありましたね。その時は僕一人での帰国だったんですが、日本のことを一から学び直さなければなりませんでしたが、日本人だけど感覚は外国人みたいでしたしね。

- 音楽に目覚めたきっかけは何でした？

- 最初は英語が全くわからないじゃないですか。でも、音楽は何言っているのかわからなくてもわかりますよね。それで、ずっとMTVとか観ていたんです。そこで色々な音楽に触れることが出来たのが大きいですね。



- 自分独りででも日本に帰ってこようと思っ  
たのはどうしてですか？

- 日本大好きな少年だったんです。相撲とか  
も好きでしたし。ずっと海外にしようとは思っ  
ていなかったの、それで途中から日本人学  
校にも行って自分なりに日本に戻る準備をし  
ていたところもありますね。

- 日本とアメリカの中高生の違いってなんで  
した？

- そうですね、日本だと外国から転校生が来  
るってなると大騒ぎじゃないですか。周りの  
生徒もいろいろと手助けしてくれるし、先生も  
気を使ってくれますよね。でも、アメリカは移  
民の国なんでそういうことが全くないんです。  
この国に住みたてて来るんだろ、というのが  
前提なんである意味パルタなんですよ。ね。  
僕も向こうに行って、必死にやらなければい  
けない、という体験をしたのはその後の価値  
観への影響が大きいですね。

- 音楽を始めたのは高校からですか？

- そうですね。最初はベースをやりました。シ  
ャイだったのでボーカルとかはまだやってい  
ませんでしたね(笑)。その頃は漠然とこんな  
楽しいことで生活していけたら最高だな、な  
んて思っていました。当時の将来の夢は弁  
護士になることでした。中学の時に仲の良い  
友人が「お前将来どうするんだ?!」って聞いて  
きて、「男たるもの人の役に立たなきゃダメ  
だ。」と(笑)。お、かっこいいな、ってなって弁  
護士かな、と(笑)。人の役にも立てるし、かっ  
こいいしね(笑)。でも、それもある程度本気  
で想っていて、音楽もすごい楽しくて救われ  
るし、弁護士と音楽への夢がないまぜになっ  
た高校時代でしたね。

- その後、進路を決めるときはどうしました？

- 自分のなかには進学しない、という選択肢  
もあったんですが、小林秀雄さんに憧れてた  
ところもあって日本中から豪傑が集まる大学

に行くっていうのもありだな、と思ひまして。  
両親も、大学に行かせてくれるということだっ  
たので進学を決めました。

- そして、大学を経て音楽の道に進んだわけ  
ですよ。

- 在学中にSka Ska Clubというバンドでデビ  
ューしていたんですが、そのバンドの後期に  
メンバーの就職などで活動もあまり頻繁には  
やらなくなったころ、ファンの男性から手紙を  
貰ったんです。「僕の弟は先日病気で亡くな  
りました。入院中、弟にSka Ska ClubのCDを  
持って行って聴かせたら、彼の心に刺さった  
のかとても楽しそうに聴いていました。そん  
な時間を作ってくれてありがとうございます。  
」という内容で、それにハッとさせられました  
ね。それまでは、ただ自分が楽しければ良い、  
かっこよければ良い、って思っていて。それは  
それで良いんですけど。聴いてくれる人た  
ちが、自分たちの音楽をこうやって受け取っ  
てるんだっていうことは、自分が楽しいってこ  
とよりも嬉しいことだな、と思うようになりま  
した。なので、ROCK'A'TRENCHを始めるときに  
はそのことをすごい考えましたね。

- それがROCK'A'TRENCHの基本にあるわけ  
ですよ。

- そうですね。バンド名の由来でもあるボブ  
マーリーの「トレンチタウン・ロック」という曲  
の歌詞の通りなんです。音楽が鳴れば痛  
みはなくなる、っていうね。音楽はやっぱりす  
ごいんですよ。楽しくもなるし、救われもする。  
ライブでもアルバムでも一緒なんですけど、  
僕らは一曲一曲必死で作曲して、その曲を磨  
いて、より良いものになしようと努力して、曲を  
覚えて、一生懸命演奏して、音楽って良いな、  
楽しい、救われる、って僕らの音楽を聴く人が  
思ってくれば嬉しいですね。

- 中・高生へ伝えたいことは？

- やりたいことがあって、それをやる環境

にあるのであれば、「あいつ、やりきってるな  
あ」って周りが思うくらい、ぐうの音も出ないく  
らいやれば絶対に理解されるし、扉も開きま  
すから。例えばバンドをやっているとして、親  
がそれを止めてしまえて言われるのってぬ  
るくやってるからなんですよ。真剣に熱くやっ  
ていれば自分のわからないものでもわかって  
もらえるんですよ。僕も、それだけの想いを持  
ってやらなければいけないですし、うちのメ  
ンバーもそう想ってやってきていますから。

ROCK'A'TRENCH 2011秋・全国ツアー  
「Steady Rock vol.7 ~ボヘミアニズム~」

10.8(土) 京都KYOTO MUSE  
10.9(日) 神戸VARIT.  
10.14(金) 仙台darwin  
10.15(土) 盛岡CLUB CHANGE WAVE  
10.22(土) 金沢VAN VAN V4  
10.23(日) 新潟GOLDEN PIGS RED  
10.29(土) 鹿児島SRホール  
10.30(日) 熊本DRUM Be-9 V2  
11.3(木・祝) 徳島CLUB GRINDHOUSE  
11.5(土) 松山ザロンキティ  
11.6(日) 岡山CRAZYMAMA KINGDOM  
11.13(日) 札幌cube garden  
11.18(金) 広島CLUB QUATTRO  
11.19(土) 福岡DRUM Be-1  
11.25(金) 東京・赤坂BLITZ  
11.27(日) 名古屋ボトムライン  
12.2(金) 大阪・なんばHatch

総合問い合わせ

ROCK'A'WAVE

rockawave@taisuke.co.jp

03-5428-1969(平日12:00~17:00)

ROCK'A'TRENCH オフィシャルHP

<http://www.rockatrench.com/>



ROCK'A'TRENCH  
New Album  
「Bohemia」  
2011.09.07 RELEASE  
【初回限定盤A】(CD + DVD)  
WPZL-30318/19 ¥3,500  
【初回限定盤B】(CD + DVD)  
WPZL-30320/21 ¥3,500  
【通常盤】(CD)  
WPCL-10989 ¥3,000  
ワーナーミュージック・ジャパン

# School Trip in London, U.K

2010年10月、精華学園高校ではイギリス・ロンドンへ研修旅行へ出掛けました。

世界中の文化財、芸術品が集まる大英博物館をはじめビートルズのレコード・ジャケットで有名なアビー・ロード、ビッグベン、ロンドン・ブリッジと、ロンドンならではの建造物、名所を見て回りました。

なかでも大英博物館はヨーロッパ、世界の歴史を学ぶには最適の場所のひとつです。

是非一度訪れてみてください。



ビッグベン



大英博物館



テムズ川、ロンドン・アイ





アビー・ロード





# John・B

ウルフルズのベーシストだけでなく、一人のソロ・アーティストとしても執筆家としての顔も持つジョン・Bさん。

そんなジョン・Bさんの新プロジェクト「ジョン・B&ザ・ドーナツ！」は、これまでのウルフルズのジョン・B・チョッパーというイメージを覆す、ジョン・Bという一人のアーティストの作家性がさらっと表現された素敵なポップ・ミュージックとなっています。

謙虚で飄々とした人柄のジョン・Bさんにいろいろとお話を聞かせてもらいました。

- どのような高校生活を送られていたんですか？

- 面白い話ないですよ(笑)。僕ね、男子校行ってたんですよ。まあ、これが面白くない。全く男子校を楽しめなかった。だから、その当時パンク、ニューウェーブなんかを聴いたり、太宰治に影響を受けて本を読んだりしてたんだけど、夜中中ずっと本読んだりしてるものだから授業中はずっと寝てるんですよ。

- 卒業は大丈夫でした？(笑)

- なんとか卒業は大丈夫でした。高校時代ね、割と記憶が飛んでるんですよ(笑)。でもね、今になって思えば、あの男子校っていう閉鎖された空間で自分がひねくれていたっていうのは、今の自分にとっては重要な過程だったな、と思いますね。

- そこから音楽や執筆の方に向かっていったわけですよね。

- 兄貴が大坂芸大に行っていたんです。やっぱり、その当時の芸大ですからアングラなものが流行っていて、そういうところにいる兄貴に憧れたわけですよ。そういう道に自分も行きたいな、と。でも周りはヘヴィメタル好きと

かしかないから、友だち作れない(笑)。共通の話題で話せる人がいない。兄貴の部屋に勝手に入ってレコード聴いたり、写真集みたりね。その頃から、アーティストックなものに憧れるようになりましたね。それは、今でも変わらないです。アーティストックな人を見ると、いいなあ、と。

- でも、周りからみればジョンさん自身がミュージシャン、執筆家と様々な形でアーティストックな活動をなされている方に見えますよね。

- 音楽ありきではあるんですが、出来ることをやっている、というだけですけどね。如何に形にしていくか、っていうのはいつも考えてますね。考えなきゃダメだな、と。多くの人に支えてもらって活動してるわけですから、自分が一番見えてなきゃダメだなと思いますね。ちゃんとイメージを築き上げないと周りの人もどうしていいのかわからない。だから、いろんなことを考えるのが良いんですよ。考えてアイデアを出していけば、見えてくることもあるので楽しくなってくるんですよ。始めは闇雲でも、やっているうちに具体的に楽しくなってくるんですよ。

- それがモチベーションになってくるんですね。

- 最初はどうしていいのかわからん、ってなっても、何かやりたい、っていうのはありますからね。見えすぎて出来ないのか、何もなくて出来ないのかはわかりませんが、やりたいっていう想いと、現実的にやらなきゃいけないこと、出来ることのバランスが大切ですよ。それは人それぞれのやりかたで、いろいろと試行錯誤していく中でね。どんどん繰り返していったって夢に近づけていく作業をやらなきゃいけないですよ。自分なりのサイクルを見つけていくんですよ。「全然あかんわ」って日もあれば、「なんかすごい」って日もあるわけで。それがずっと動いていかないとダメですよ。

- 読者へのメッセージをお願いします。

- 何にもないです(笑)。若さがあるから良いんですよ(笑)。なんにも知らずに思い込みだけで進んでいけば良いんです。何も知らない強さがありますから。勘違いでどこまで行けるか、ってね(笑)。それはやっぱり強いですが。あとは・・・、お金のことも考えなきゃダメですけどね(笑)。バランスをね(笑)。

JOHN・B オフィシャルHP  
<http://www.john-b.jp/>



ジョン・B&ザ・ドーナツ!

1st ALBUM「DONUTS!」  
TACD-13 ¥3,000(税込)

【CD】11曲+bonus track1曲  
【BOOK】全48ページ(書き下ろし短編・撮り下ろし写真・インタビュー他、満載)



## 精華学園高等学校 入学式・卒業式

この春、精華学園高等学校では例年通り卒業式・入学式が行われました。

卒業生54名、入学生233名がそれぞれに新たな道を歩むこととなります。

これから精華学園高等学校で学ぶこと、これまでに学んだことを活かして自分の夢や目標に向かって進んでいって欲しいと思います。

# School Introduction



## 精華学園高等学校

## 清水学習センター アスリート・コース



精華学園高等学校・清水学習センターの特徴である「アスリート・コース」は、プロ・スポーツ選手(競輪・オート・競艇・サッカー・野球・テニス・ゴルフなど)を目指す人、一流アスリートになるためのトレーニング理論、栄養学、ストレッチなど全てを身につけたい人には最適のコースです。

プロスポーツ選手、一流アスリートを目指すならばトレーニング理論、栄養学、ストレッチなど全ての項目を学び・実践し活用することが重要になります。

もちろん、選手ではなく、トレーナー・マッサージ師などの勉強も合わせて行うことも可能です。スポーツ界での影の立役者を目指す人にも最適なコースでもあります。

長年プロ・スポーツ界での経験を積んできた小森・センター長がそのノウハウを伝授してくれます。

プロスポーツ選手、一流アスリートを目指す上で確実なことは「正しい3つの理論を自分自身で学ぶこと」「野球界のイチロー選手、サッカー界の中田英寿選手など超一流のアスリートは、確実な理論を自分自身で学び、身に付けています。どんなに優れたコーチ・トレーナーについても、本人以上に本人を知ることではできません。」だと言う小森・センター長と共に理論と実践を学ぶことができる清水学習センターの「アスリート・コース」。

将来、プロ・スポーツ選手、一流アスリート、

トレーナー、マッサージ師を始め、スポーツ界での活躍を目指し、そのために必要なことを学びたいと思っている方は是非一度見学してみてください。

精華学園高等学校  
清水学習センター

〒424-0814  
静岡県清水区本郷町1-28  
アジム清水駅前ビル2F・5F

平成23年度12月より  
〒424-0806  
静岡県清水区辻1丁目  
清水駅西第二地区ビル2F

Tel 054-364-7700  
Fax 054-364-7720  
<http://seika-shimizu.jp>

# About Sea-kindly

「Sea-kindly」とは「荒波を容易に帆走出来る」という意味を持っています。  
様々な人の言葉を通じて荒波を乗り越えていく為の「きっかけ」や「発見」に繋がるものを感じ取ってもらえたらと考えています。

フリーペーパー「SK」では、一緒に紙面作りを行ってくれる学生を募集しています。

特集記事や、インタビュー、体験レポートなどを始めとした各種レポート記事、ジャンルを問わず自分が読者に勧めたいと思う音楽や映画、本などのレビュー、得意料理のレシピなど、あなたが面白いと感じ、多くの人に伝えたいと思う企画であればその内容は自由です。

一緒に「SK」を作っていきましょう。

記事の企画、提案はこちらまで。

<http://sk.sos-japan.org>

## 精華学園高等学校 学習センター一覧

北海道	HA札幌学習センター 札幌白石学習センター
宮城県	HA仙台学習センター
新潟県	HA新潟学習センター 新潟学習センター
埼玉県	武里学習センター 上尾学習センター
千葉県	西船橋学習センター 新松戸学習センター 茂原学習センター 勝田台南学習センター
東京都	HA東京高田馬場第二学習センター HA原宿学習センター 町田学習センター 北千住学習センター 瑞江学習センター 練馬学習センター 板橋学習センター(稼働準備中) 東京ボイス学習センター(稼働準備中)
神奈川県	HA横浜学習センター 日本サーフアカデミー学習センター 横浜学習センター
静岡県	掛川学習センター 清水学習センター
群馬県	群馬学習センター(稼働準備中)
山梨県	HA富士河口湖学習センター
大阪府	大阪西学習センター
和歌山県	和歌山学習センター
香川県	高松学習センター
徳島県	徳島学習センター(稼働準備中)
兵庫県	HA神戸学習センター
広島県	HA広島学習センター
山口県	宇部学習センター
福岡県	高宮学習センター 小倉学習センター
大分県	大分学習センター
長崎県	長崎学習センター(稼働準備中)
沖縄県	夢咲学園学習センター

HA = ヒューマン・アカデミー

詳しくは精華学園HPを御覧ください。

# Index

P1-4  
東日本大震災への取り組み

P5-6  
英語学習への取り組み

P7-8  
ROCK'A'TRENCH

P9-10  
ロンドン研修旅行

P11  
John B

P12  
入学式・卒業式

P13  
School Introduction



発行・企画・編集・制作

特定非営利活動法人 Seeds Of Species  
<http://www.sos-japan.org>



協力

学校法人山口精華学園 精華学園高等学校  
<http://seikagakuen.ac.jp>

# BeKindly vol.4

